

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年4月11日 (2013.4.11)

【公表番号】特表2008-519064(P2008-519064A)

【公表日】平成20年6月5日 (2008.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2008-022

【出願番号】特願2007-540183(P2007-540183)

【国際特許分類】

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 K 47/28 (2006.01)

A 6 1 K 47/44 (2006.01)

A 6 1 K 47/16 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 33/24

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 47/24

A 6 1 K 47/28

A 6 1 K 47/44

A 6 1 K 47/16

A 6 1 K 9/127

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年2月18日 (2013.2.18)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 0 】

いくつかの態様において、本発明は、上記方法に関し、脂質は、卵ホスファチジルコリン (EPC)、卵ホスファチジルグリセロ - ル (EPG)、卵ホスファチジルイノシト - ル (EPI)、卵ホスファチジルセリン (EPS)、卵ホスファチジルエタノ - ルアミン (EPE)、卵ホスファチジン酸 (EPA)、大豆ホスファチジルコリン (SPC)、大豆ホスファチジルグリセロ - ル (SPG)、大豆ホスファチジルセリン (SPS)、大豆ホスファチジルイノシト - ル (SPI)、大豆ホスファチジルエタノ - ルアミン (SPE)、大豆ホスファチジン酸 (SPA)、硬化卵ホスファチジルコリン (HEPC)、硬化卵ホスファチジルグリセロ - ル (HEPG)、硬化卵ホスファチジルイノシト - ル (HEPI)、硬化卵ホスファチジルセリン (HEPS)、硬化卵ホスファチジルエタノ - ルアミン (HEPE)、硬化卵ホスファチジン酸 (HEPA)、硬化大豆ホスファチジルコリン (HSPC)、硬化大豆ホスファチジルグリセロ - ル (HSPG)、硬化大豆ホスファチジルセリン (HSPS)、硬化大豆ホスファチジルイノシト - ル (HSPI)、硬化大豆ホスファチジルエタノ - ルアミン (HSPE)、硬化大豆ホスファチジン酸 (HSPA)、ジパルミトイルホスファチジルコリン (DPPC)、ジミリストイルホスファチジルグリセロ - ル (DMPG)、ジミリストイルホスファチジルグリセロ - ル (DMPG)、ジパルミトイルホスファチジルグリセロ - ル (DPPG)、ジステアロイルホスファチジルコリン (DSPC) およびジステアロイルホスファチジルグリセロ - ル (DSPG)、

ジオレイルホスファチジル - エタノ - ルアミン (D O P E)、パルミトイルステアロイルホスファチジルコリン (P S P C)、パルミトイルステアロイルホスファチジルグリセロ - ル (P S P G)、モノオレオイル - ホスファチジルエタノ - ルアミン (M O P E)、コレステロ - ル、エルゴステロ - ル、ラノステロ - ル、トコフェロ - ル、脂肪酸のアンモニウム塩、リン脂質のアンモニウム塩、グリセリドのアンモニウム塩、ミリスチルアミン、パルミチルアミン、ラウリルアミン、ステアリルアミン、ジラウリルエチルホスホコリン (D L E P)、ジミリストイルエチルホスホコリン (D M E P)、ジパルミトイルエチルホスホコリン (D P E P) およびジステアロイルエチルホスホコリン (D P E P)、N - (2、3 - ジ - (9 - (Z) - オクタデセニルオキシ) - プロップ (prop) - 1 - イル - N、N、N - トリメチルアンモニウムクロリド (D O T M A)、1、2 - ビス (オレオイルオキシ) - 3 - (トリメチルアンモニオ) プロパン (D O T A P)、ホスファチジルグリセロ - ル類 (P G s)、ホスファチジン酸類 (P A s)、ホスファチジルイノシト - ル類 (P I s)、ホスファチジルセリン類 (P S s)、ジステアロイルホスファチジルグリセロ - ル (D S P G)、ジミリストイルホスファチジン酸 (D M P A)、ジパルミトイルホスファチジン酸 (D P P A)、ジステアロイルホスファチジン酸 (D S P A)、ジミリストイルホスファチジルイノシト - ル (D M P I)、ジパルミトイルホスファチジルイノシト - ル (D P P I)、ジステアロイルホスファチジルイノシト - ル (D S P I)、ジミリストイルホスファチジルセリン (D M P S)、ジステアロイルホスファチジルセリン (D P P S)、ジステアロイルホスファチジルセリン (D S P S)、ならびにその混合物からなる群から選択される。いくつかの態様において、脂質ベ - スの白金製剤中の脂質は、ジパルミトイルホスファチジルコリン (D P P C) などのリン脂質、またはコレステロ - ルなどのステロ - ル、またはその両方である。さらに別の態様において、脂質は、50 ~ 65 mol % の D P P C と 35 ~ 50 mol % コレステロ - ルの混合物である。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

II. 脂質

抗癌性腫瘍薬の i p もしくは i v 送達のためのリボソ - ムを作製する際に用いられる脂質は、合成、半合成または天然に存在する脂質であることができ、リン脂質、トコフェロ - ル、ステロ - ル、脂肪酸、アルブミンなどのグリコプロテイン、負帯電脂質、陽イオン性脂質を含む。リン脂質としては、卵ホスファチジルコリン (E P C)、卵ホスファチジルグリセロ - ル (E P G)、卵ホスファチジルイノシト - ル (E P I)、卵ホスファチジルセリン (E P S)、ホスファチジルエタノ - ルアミン (E P E)、およびホスファチジン酸 (E P A) などの脂質；その大豆対応物 (soya counterpart) である、大豆ホスファチジルコリン (S P C)、S P G、S P S、S P I、S P E、および S P A；その硬化卵および大豆対応物 (例えば、H E P C、H S P C)、炭素数 12 ~ 26 の鎖を含有する 2 および 3 のグリセロ - ル位置における脂肪酸のエステル結合およびコリン、グリセロ - ル、イノシト - ル、セリン、エタノ - ルアミンを含むグリセロ - ルの I 位置における異なる頭基 (head group) から構成された他のリン脂質、ならびに対応するホスファチジン酸があげられる。これらの脂肪酸の鎖は、飽和であっても不飽和であってもよく、そのリン脂質は、異なる鎖長および異なる不飽和度の脂肪酸で構成してもよい。特に、製剤の組成物は、D P P C を含むことができる。他の例としては、ジミリストイルホスファチジルコリン (D M P C) およびジミリストイルホスファチジルグリセロ - ル (D M P G)、ジステアロイルホスファチジルコリン (D P P C) およびジパルミトイルホスファチジルグリセロ - ル (D P P G)、ジステアロイルホスファチジルコリン (D S P C)、およびジステアロイルホスファチジルグリセロ - ル (D S P G)、ジオレイルホスファチジル - エタノ - ルアミン (D O P E) およびパルミトイルステアロイルホスファチジルコリン (P S P

C) やパルミトイルステアロイルホスファチジルグリセロ - ル (P S P G) のような混合リン脂質、およびモノオレオイル - ホスファチジエタノールアミン (M O P E) のような単一アシル化リン脂質 (single asylated phospholipids) を含むことができる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 5】

前記電氣的に中性な複数の脂質が、卵ホスファチジルコリン (E P C)、卵ホスファチジエタノールアミン (E P E)、大豆ホスファチジルコリン (S P C)、大豆ホスファチジエタノールアミン (S P E)、硬化卵ホスファチジルコリン (H E P C)、硬化卵ホスファチジエタノールアミン (H E P E)、硬化大豆ホスファチジルコリン (H S P C)、硬化大豆ホスファチジエタノールアミン (H S P E)、ジパルミトイルホスファチジルコリン (D P P C)、ジミリストイルホスファチジルコリン (D M P C)、ジステアロイルホスファチジルコリン (D S P C)、ジオレイルホスファチジエタノールアミン (D O P E)、パルミトイルステアロイルホスファチジルコリン (P S P C)、モノオレオイルホスファチジエタノールアミン (M O P E)、コレステロール、エルゴステロール、ラノステロール、トコフェロール、ジラウロイルエチルホスホコリン (D L E P)、ジミリストイルエチルホスホコリン (D M E P)、ジパルミトイルエチルホスホコリン (D P E P)、ジステアロイルエチルホスホコリン (D S E P)、ならびにその混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の使用。